

令和3年度 4歳児もも1組 「発表会」単元計画

(令和3年度実践前修正箇所を斜体、
実践後修正箇所を囲み文字にて示す。)

1. 期間 1月中旬～2月下旬

2. 単元設定の理由

3年保育の4歳児は、昨年学年で1か月近く一つのお話をもとにごっこ遊びをする発表会を1回経験してきている。その中で、自分のしたいことを選んだり意識してしようしたり、できるようになって嬉しいと思ったり、友達と一緒に身体を動かしたり歌をうたったりする喜びを感じたり、なりたい登場人物になって表現する楽しさを感じたりしてきている。また、友達と一緒に遊ぶ中で友達のことを知ったり、自分の気持ちを言葉や行動で伝えたりしてきている。

また、発表会を迎える中で、たくさんの人に見てもらったり拍手をしてもらったりして嬉しい気持ちを感じたり、自分に満足したりしている。また、昨年5歳児がグループに分かれて練習する姿を見る経験もしていて、こんなことをしてみたいとあこがれの気持ちをもっている子どももいる。

4歳の運動会では、少し難しいことに対してできるようになりたい、上手になりたいという気持ちをもって繰り返し取り組み、できるようになった嬉しさや前より上手になった嬉しさを感じていた。10月から11月頃には、自分たちで気の合う友達を誘い合って遊び始め、したいことを言ったり友達の話を聞いたりして、友達と一緒に遊ぶことを楽しんでいた。その中で、友達の様子を見たり、考えていることを見たり聞いたりして、すごいな、面白いな、などいろいろな友達の個性に気付いたりしていた。また、いろいろなごっこ遊びの中で、なりたいものを思い浮かべて、言葉や話し方、振る舞い方でなりきったり、遊びに必要なものを作って身に付けたりすることを楽しんだりもしてきている。

3学期になると、前とは違う自分や頑張っているできるようになったことを意識させることで、前と違ってこう変わった、こんなことができるようになったと自信をもっていく。また、こまを回したい、大きなこまや小さなこまを回したい、縄跳びが跳べるようになりたい、ボールをつけるようになりたい、フープを回せるようになりたいなど、これをこんな風にできるようになりたいと具体的に目的をもって挑戦し、できるようになると次の目的を決めて挑戦していく姿が見られるようになる。その中で、友達の頑張っている姿やできるようになった姿を見て、すごいと思ったり、うまくいなくて困っている友達に気付き、助けてあげようとしたりする。また、したい遊びによっていつもと違う友達と遊んだり、クラスみんなで遊んだりする中で、友達のよさに気付いたり、今まで知らなかった個性に気付いたりするようになる。

発表会で、子ども達に身近な心情のお話を取り上げてごっこ遊びをすることで、登場人物の気持ちを感じて共感したり、登場人物の気持ちを感じながら、表情や言葉、話し方、動き方などを考えて表現したりすることができる。また、子ども達の考えを取り入れながら、遊びや話の流れ、動きなどを決めて進めていくことで、「ぼくが考えた、私が考えた」という自信になったり、みんなで決めたことを一緒にすることを喜んだりする。これまでみんなで楽しんできた遊びを取り入れることで、もっとこうしてみたい、こうしたら楽しくなるということを、それぞれが考えを出し合いながら一緒に決めていくことができる。ごっこ遊びで必要だと思ったものを作ることで、こんなものがほしい、こんな風に使いたいなどを考えながら作りたいものをはっきり思い浮かび、大きさや形、色、組み合わせ方などを考えたり、素材の特徴をいかしたりしながら、描いたり作ったりすることができる。

そこで、発表会では、これをこんな風にできるようになりたい、これをこんな風にしたいなど具体的な目的をもち、それに向けて繰り返し挑戦していけるように支えていきたい。そして、前とは違う自分を自覚して自信をもったり、さらなる目的をもち、挑戦していきなりしてほしい。また、お話を取り上げてごっこ遊びをする中で、自分の考えを言ったり、友達の考えを聞いたりしながら、一緒に遊びを進めることを楽しんでもほしい。そして、面白いことを考える、助けてくれて優しいなど、気の合う友達や、今まであまりかかわりのなかった友達のいろいろな個性に気付いてほしい。

3. ねらい

- | | | |
|---|--|--|
| ① | なりた役を決めて動き方や話し方、言葉、遊び方などについてこうしたいと考えたり、必要なものをこんな風に作ってみたいと思ったりして、してみようとする | 自ら決める・選ぶ |
| ② | こまを回せるようになりたい、ボールをたくさんつきたい、フープを回せるようになりたい、縄をもっと飛べるようになりたいなど、具体的な目的をもって挑戦しようとする | 自ら決める・選ぶ |
| ③ | できなかったことや難しいと思っていたことができるようになってきた、上手になったなど前とは違う自分やしたいことを続けてきた自分の頑張りを感じて自信をもったり、なりた役になったり遊びに必要なものを作ったりして、自分の考えたことができたことに満足したりする | 自分に満足する
自分を客観的に把握する |
| ④ | うまくいなくて悔しい、困ったなどと思った時に、気持ちを立て直してやってみようとする | 気持ちをコントロールする |
| ⑤ | いろいろな友達と体を触れ合わせたり、顔を見合わせたり、一緒に歌ったり役になりきったりしながら、一緒に遊ぶ楽しさを味わう | 他者という喜びを感じる |
| ⑥ | 友達が考えた動きを見たり、友達の台詞を聞いたり、コマ回しやフープ回しなど、できるようになりたいことを一生懸命する姿を見たり聞いたりして、友達の考えのよさを感じたり、今まで知らなかった個性を知ったり、友達の頑張りを素敵だと思う | 他者のことを知る |
| ⑦ | 友達の気持ちや考えを聞きながら、自分の困ったことや嫌な気持ち、したいことやしてほしいこと、こうすればよいと考えたことを友達に分かるように伝えようとする | 自分のことを伝える
豊かに発想し、追求の手立てを構想する |
| ⑧ | 困っている友達に気付く、声をかけたり、待ってあげたり、励ましてあげたり、教えてあげたりなどしてあげたいと思うことをしようとする | 他者のことを考えて行動する
問題を認識する
豊かに発想し、追求の手立てを構想する |
| | みんなでするごっこ遊びに向けて、友達のしていることを見たり考えを聞いたりして自分のできることを考えてした、必要だと思うことをしようとしたりする | 人と協力・共同する
豊かに発想し、追求の手立てを構想する |
| ⑨ | みんなでするごっこ遊びが楽しくなるように、したいことや考えたこと、おかしいと思ったことを言ったり聞いたりしながら、どんなものやどんなことが必要か、どうすればよいかなどを友達と一緒に考えようとする
たり、自分にできることはないか考えたりしようとする | 人とものごとをすすめる
豊かに発想し、追求の手立てを構想する |
| ⑩ | 大勢の友達と動く時に、どうすると危ないかを教えてもらったり、何が危なかったのかを一緒に考えたりして、同じ方向に走ったり、周りをよく見て動いたりしようとする | 身を守る
自分を客観的に把握する |
| ⑪ | こま回しで、腰を落としたり、タイミングをみて腕を引いて遠くを狙ってこまを投げたりして、うまく回すための姿勢や体の動かし方をつかみながら回すことを楽しむ | 身体を操作する |
| ⑫ | ボールを片手でついたり、ついたボールを両手で捕ったり、転がしたり、上にあげたボールを受け取ったりして、ボールの動きに合わせて体の動きを様々に調整することを楽しむ
長縄跳びで、縄をよく見たり、一定のリズムで跳んだりすることを楽しむ | 身体を操作する |
| ⑬ | フラフープ回しで、フープの回転に合わせて体を動かしたり、体のいろいろなところで回してみたりすることを楽しむ | 身体を操作する |
| ⑭ | ごっこ遊びに必要なものを思い浮かべて、大きさや形、色、組み合わせ方などを考えたり、素材の特徴をいかしたりしながら、描いたり作ったりすることを楽しむ | 造形に表す
関連付ける |
| ⑮ | リズムを感じて歌をうたったり身体を揺らしたり、歌に流れるお話を思い浮かべながら歌をうたったり、歌や曲に合わせて身体を動かしたりすることを楽しむ | 音楽に表す |

- ⑯ 絵本を見たり，お話を考えたりして，お話それぞれの場面の様々な登場人物の気持ちを感じたり考えたり，友達や教師と一緒にお話を作る楽しさを感じたりする
- ⑰ 登場人物の気持ちや性格，具体的な場面を思い浮かべたり，友達の真似をしたりしながら，表情や言葉，話し方，動き方でなりきって表現することを楽しむ
- ⑱ よりその場面らしくなるように、小道具や大道具を作ったり、場面に応じて使ったり、こんな風にしたいと思って立つ位置などを考えたりする
- ⑲ ごっこ遊びに使ったり，必要なものを作ったりする中で，道具の扱い方を知り，慣れたり，道具を丁寧に扱おうとしたりする

文芸に表す

身体の動きに表す

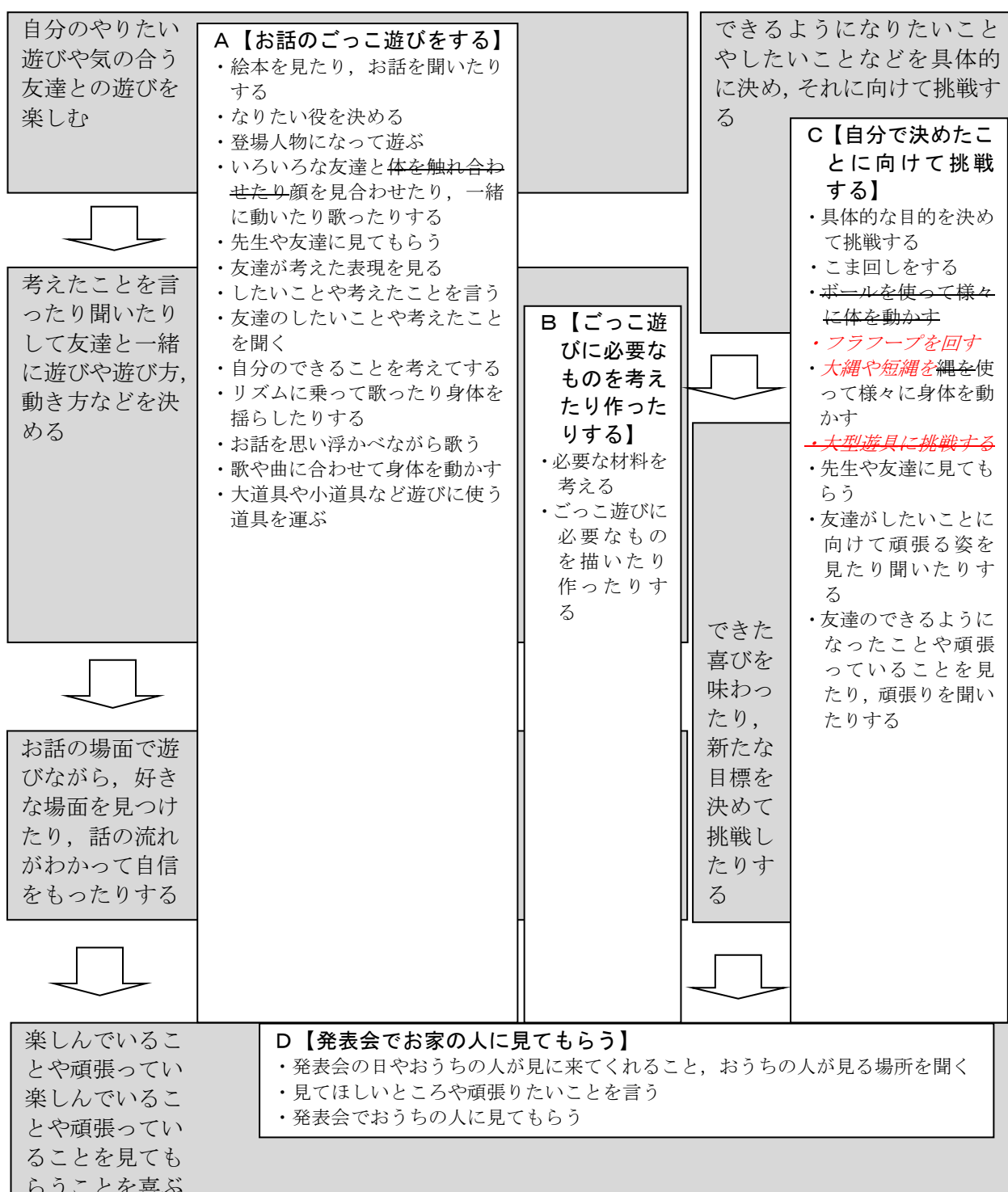
演出に表す

豊かに発想し，追求の手

立てを構想する

道具をあやつる

4. 単元構造



A 【お話のごっこ遊びをする】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
・絵本を見たり、お話を聞いたりする ・なりたい役を決めてなる ・登場人物になりきって表現する遊ぶ ・いろいろな友達と体を触れ合わせたり顔を見合わせたり、一緒に動いたり歌ったりする ・先生や友達に見てもらう ・友達が考えた動き表現を見る ・したいことや考えたことを言う ・友達のしたいことや考えたことを聞く ・自分のできることを考えてする ・リズムに乗って歌ったり身体を揺らしたりする ・お話を思い浮かべながら歌う ・歌や曲に合わせて身体を動かす ・大道具や小道具など遊びに使う道具を運ぶ	○自分でなりたい役を決め、動き方や話し方、言葉、遊び方などについてこうしたほうが良いと考えてしてみようとする① ○うまくいかなくて悔しい、困ったなどと思った時に、気持ちを立て直してやってみようとする④ ○ できなかったことや難しいと思っていたことができるようになってきた、上手になったなど前とは違う自分やしたいことを続けてきた自分の頑張りを感じて自信をもったり、なりたい役になったり遊びに必要なものを作ったりして、自分の考えたことができたことに満足したりする③ ○いろいろな友達と体を触れ合わせたり顔を見合わせたり、一緒に動いたり歌ったり 役になりきったりしながら、一緒に遊ぶ楽しさを味わう⑤ ○友達が考えた動きを見たり、セリフを聞いたり、友達が恥ずかしくても頑張っている姿や一生懸命する姿を見たり聞いたりして、友達の考えを知ったり、友達のよさを感じたり、今まで知らなかった個性を知ったりする⑥ ○困っている友達に気づき、声をかけたり、待ってあげたり、励ましてあげたり、教えてあげたりなどしてあげたいと思う	◎自分でなりたい役を決められるように、したいところ、なりたい役を選んで出てこれるように進めていく ◎動き方、話し方、言葉などをそれぞれが考えられるように、考えてしていること のよさを具体的に褒めて意識させ伝えて意識するようにしたり、それぞれの考えた表現のよさを褒めたりする ◎しまった、悔しい、困ったと思った時に、気持ちを立て直すことができるように、困っている気持ちを受け止め、待ったり、周りの友達と一緒に励ましたりする ◎前と比べて変わった自分、頑張っている自分を感じられるように、前と比べてよくなっているところや、 これまでの頑張りを具体的に言葉にして伝える褒めて褒めたり、これまでの頑張りを褒めたりする ◎自分の考えたことを認めてもらえた嬉しさを感じられるように、工夫している表現を褒めたり、考えていることを聞いたり、友達に見てもらう場をもち、友達の見て感じたことを聞かせたりする ◎友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わえるように、友達と体を触れ合わせたり、動きを合わせる必要があったりする遊びを取り入れる ◎いろいろな友達と一緒に遊ぶことを楽しいと思えるように、友達と一緒に自由に遊ぶ場面や友達を誘い合って一緒にする場面を作ったり、一緒にしている友達の名前を呼んだり、感じている嬉しい気持ちを言葉で伝えたりする ◎友達の考えを知ったり、友達のよさを感じたりできるように、考えたことを見合ったり、工夫している表現や頑張っていることを褒めて注目させたり、見て感じていることに共感したりする ◎友達にしてあげたいと思うことをしようとするように、困っている友達の姿を知らせたり、困っている友達のためにしてあげたいことを一緒に考えたり、待ってできそうな時は、待ってあげることを提案したり

ことをしようとする⑧

- **気持ちを込めて表現する、登場人物の特徴をとらえて動くなど、友達の頑張りを素敵だと思う⑥**

- 友達の気持ちや考えを聞きながら、自分の困ったことや嫌な気持ち、したいことやしてほしいこと、こうすればよいと考えたことを友達に分かるように伝えようする⑦

- みんなでするごっこ遊びに向けて、友達のしていることを見たり考えを聞いたりして自分のできることを考えてしたり、必要だと思うことを一緒にしようとしたりする⑩

- みんなでするごっこ遊びが楽しくなるように、したいことや考えたこと、おかしいと思ったことを言ったり聞いたりしながら、どんなものやどんなことが必要か、どうすればよいかなどを友達と一緒に考えようとする⑭⑨

- リズムを感じて歌をうたったり身体を揺らしたり、歌に流れるお話を思い浮かべながら歌をうたったりすることを楽しむ⑭⑮

- 絵本を見たり、お話を聞いたりして、登場人物の気持ちを感じたり、共感したりする⑭⑯

する

- ◎ 友達の頑張っていることや頑張っているようになったこと、工夫していることをすごいと思えるように、これまでの頑張りが考えていることを知らせたり聞いたりして注目させたり、何がどうよいのか着目するところを知らせたり、頑張っているようになったことを見合う場をもったりする

- ◎ 自分の気持ちや考えたことを友達に伝えようとするように、友達の考えを聞いてどう思うのか尋ねたり、具体的な言葉に言い換えたり、言葉を足したり、相手に伝わったか一緒に確かめたりする。

- ◎ それぞれの考えていることがわかるように、実際に動いて見せてもらったり、みんなで動いてみたりする

- ◎ 自分のできることを考えたり、必要だと思うことを一緒にしようと思えるように、声をかけあったり、合図を出したりして動いていることを褒める

- ◎ したいことや考えたことを言ったり聞いたりしながら一緒に考えられるように、考えるポイントを絞って話し合いをし、友達の考えに対してどう思うのかやその理由を聞いたり、考えが合わない場合は、自分はどうしたいのかを聞いたりする

- ◎ 遊び方やルールを友達と一緒に考えて決めていけるように、これまで楽しんできた簡単なルールのある遊びを取り入れ、もっとこうしたらいいと思うことや困ったこと、おかしいと思っていることを聞き出したり、それに対してどう思うのかを投げかけたりする

- ◎ リズムを感じて歌ったり身体を揺らしたりするように、子どものよく知っている曲で弾んだり揺れたりするリズムのあるものを選ぶ

- ◎ お話の中で子どもたちが感じている **登場人物の**気持ちや楽しんでいることを聞きながら、 **一緒に台詞や歌詞を作る**

- * 登場人物の気持ちを感じられるように、子どもたちに身近な心情のお話を取り上げる

- * 繰り返しお話を見たり読んだりしてお話の面白いところ、好きなところを見つけたり心情や場面、動きを思い描いたりできるように、取り上げるお話の絵本を複数冊置いたり、同じシリーズの絵本や同じお話で作者が違う絵本、同じ題材の違う絵本などを一緒に置いておいたりする

- ◎ 登場人物の気持ちを感じられるように、心情が強く表れている部分は気持ちを込めて強調して読んだり、それぞれの場面での

	○登場人物の気持ちや性格，具体的な場面を思い浮かべたり，友達の真似をしたりしながら，表情や言葉，話し方，動き方でなりきって表現することを楽しむ18⑰ ○大勢の友達と動く時に，どうすると危ないかを教えてもらったり，何が危なかったのかを一緒に考えたりして，同じ方向に走ったり，周りをよく見て動いたりしようとする19⑩	気持ちを一緒に考えたりする ◎登場人物の気持ちや場面を思い浮かべられるように，情景を伝えたり，思い浮かべていることを聞き出したりする ◎登場人物の気持ちを思いながら表現できるように，登場人物の気持ちを一緒に考えて意識させたり，心情の表れている言葉を強調して話したりする ◎場面を思い浮かべながら表現できるように，寂しい，悲しいなどの場面では短調で，楽しい場面では長調でピアノを弾く ◎動く方向を考えたり，周りをよく見て動いたりしようとするように，どうすると危ないかを知らせたり，一緒に考えたり，何が危なかったのかを一緒に振り返ったりする
--	--	---

B【ごっこ遊びに必要なものを考えたり作ったりする】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
- 必要な材料を考える - ごっこ遊びに必要なものを描いたり作ったりする	○こんな形，大きさ，色にしたい，かっこよくしたい，かわいくしたいなど，作りたいと思って作ろうとする① ○自分が思うようなものができたことに満足する③ ○ごっこ遊びに必要なものを思い浮かべて，大きさや形，色，組み合わせ方などを考えたり，素材の特徴をいかしたりしながら，描いたり作ったりすることを楽しむ18⑭ ○ごっこ遊びに必要なものを作る中で，道具の扱い方を知り，慣れたり，道具を丁寧に扱おうとしたりする20⑲	◎作りたいものを具体的に思い浮かべて作ることができるように，考えていることやどんなことに使うかななどを聞いて意識させる ◎思うようなものができたことに喜べるように，工夫したところを聞いたり，教師が素敵だと思うところを具体的に伝えて褒めたりする *思い浮かべたものを作れるように，どんな形，大きさ，色，素材のものが必要なのか聞きながら材料を用意する ◎大きさや形，色，組み合わせ方を考えながら作れるように，工夫しているところを褒めたり，他の友達の工夫を見せて刺激を与えたりする ◎道具の扱い方を知ったり，慣れたりできるように，扱い方を見せたり，気をつけることを伝えたり，扱い方に困っている時には，しやすい方法を教えたりする ◎道具を丁寧に扱おうと思えるように，扱い方のモデリングをしたり，丁寧な扱い方をしていることを褒めたり，扱いが雑になっている時には，道具が傷んでしまうことを知らせて，扱い方を考えさせたりする

C【自分で決めたことに向けて挑戦する】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
・具体的な目的を決めて挑戦する ・こま回しをする ・ボールを使って様々に体を動かす ・縄を使って様々に身体を動かす ・先生や友達に見てもらう ・友達がしたいことに向けて頑張る姿を見たり聞いたりする ・友達のできるようになったことや頑張っていることを見たり、頑張りを聞いたりする	○これをこんな風にできるようになりたい、これをこんな風にしたいなどの具体的な目的をもって挑戦する② ○こま回しで、足を肩幅ぐらいに開く、ひざを曲げて低い姿勢になる、手を後ろに引いてからこまを投げるなど、こまを投げる時の姿勢や身体の使い方や動かし方、力加減を見たり体感したり考えたり試したりする⑩⑪ ○ボールを片手でついたり、ついたボールを両手で捕ったり、転がしたり、上にあげたボールを受け取ったりして、ボールの動きに合わせて動きを様々に調整することを楽しむ⑫ ○フラフープフープ回しで、フープの回転に合わせて体を動かしたり、体のいろいろなところで回してみたりすることを楽しむ⑬ ○できなかったことや難しいと思っていたことができるようになった、上手になったなど前とは違う自分を感じて自信をもつ③ ○友達がしたいことに向けて挑戦している姿を見たり聞いたりして、友達のよさを感じたり、今まで	◎具体的な目的をもてるように、何をどんな風にしたいのかを聞いて意識させる ◎はじめにしたいと思っていたことができて、さらに次のしたいことを決められるように、できて嬉しい気持ちを認めながら次の目標を聞いたり、少し難しいことを提案したりする ◎こまを投げる時の姿勢や身体の使い方、動かし方、力加減を見たり、身体で感じたり考えたり、試したりできるように、手を添えたり、やってみせたり、できる友達の姿勢や動きを見せたり、具体的な言葉で伝えたりする ◎ボールの動きに合わせた様々な体の動かし方を調整できるように、様々な遊び方を一緒に考えたり、考えている子どもの姿に注目させてやってみたり、遊び方を提案したりする ◎フープを回す時の体の動かし方や体のどこで回す事ができるのかを見たり、体で感じたり考えたり、試したりできるように、一緒にやってみたり、できる友達の姿を見せたり、体の動きを具体的に言葉にしたりする ◎前の自分と比べてできるようになっている、上手になっていると思えるように、それぞれがどこまでどんな風にできているのかを把握しておき、前よりどんなところができるようになったのか具体的に褒めたり、知らせたりする ◎できるようになった自分に自信をもてるように、できるようになった、上手になった子どもがみんなの前で披露する時間をとる ◎友達のよさや今まで知らなかった個性を感じられるように、友達が挑戦している姿をみんなで見る時間をとったり、これまでの頑張りを具体的に知らせたりする

	知らなかった個性を知ったりする⑥ ○友達が困っているときに、励ましてあげたり、教えてあげたりして、してあげたいと思うことをしようとする⑧ ○できなかったことが頑張っている友達、難しくても頑張っている友達を見てすごいと思う⑨	◎友達のためにできることを考えられるように、困っている友達がいることを知らせたり、どうしたらいいのか一緒に考える時間をとったり、待ってできそうな時は、待ってあげることを提案したりする ◎友達のできるようになったこと、頑張っていることをすごいと思えるように、できるようになったこと、頑張っていることを見合う場をもち、これまでの頑張りを見せながら伝えていく
--	--	--

D【発表会でお家の人に見てもらう】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
・発表会の日やおうちの人が見に来てくれること、おうちの人が見る場所を聞く ・見てほしいところや頑張りたいことを言う ・発表会でおうちの人に見てもらう	○発表会でおうちの人に見てもらうことに期待をもつ① ○楽しんでいることや頑張っていること、できるようになったことをお家の人に見てもらったり拍手をもらったり褒めてもらったりして嬉しいと思ったり、頑張った自分に満足したりする③ ○よりその場面らしくなるように、小道具や大道具を作ったり、場面に応じて使ったり、こんな風にしたいと思って立つ位置などを考えたりする⑮	◎発表会でおうちの人に見てもらうことを楽しみにできるように、発表会がいつあるのかやおうちの人が見に来てくれること、おうちの人が見る場所を知らせる ◎おうちの人に見てほしいところや頑張っていることを意識できるように、見てほしいところや頑張りたいことを聞いたり、頑張っているところを褒めたりする ◎頑張った自分に満足できるように、これまでの頑張りと今日の頑張りを結びつけながら、頑張っていたこと、自信をもってやっていたことを褒める ◎おうちの人に見てもらったり褒めてもらったりして嬉しいと思えるように、おうちの人が拍手してくれていたこと笑顔で見えてくれていたことを伝えたり、おうちの人に具体的に褒めてもらえるよう伝えたりする ◎見ている人も楽しい発表会にするために考えを出しあってすすめていけるように、見ている人がどう思うか知らせたり、おうちの人座る位置を知らせたり、見ていてどう思ったのか感じたことを伝えたりする